

～建設現場で稼働する工事車両の災害防止対策～

管内での過積載等防止パトロールの取り組み事例



江戸川河川事務所管内では、地域の防災力向上のため首都圏氾濫区域堤防強化対策をはじめとする堤防整備や河道内の掘削等を行っており、多くの工事車両が稼働しています。これら工事車両の交通災害防止等の一環として、過積載防止等のパトロールを行うなど、工事施工業者と連携して取り組んでいます。



スピードガン



速度超過による事故を防ぐため、速度測定を行い、交通事故防止に努めています。



アルコールチェック



抜き打ちでアルコールチェックを行い事故防止に努めています。



過積載防止ステッカー



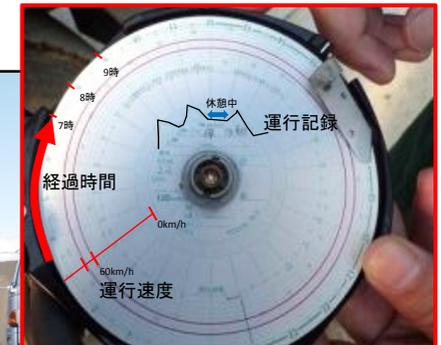
土砂積みオペレータにわかる様にダンプの荷台にステッカーを貼り過積載防止に努めています。
また、トラックスケールにより積載重量をチェックするなどの取り組みも実施しています。



積載重量チェック



タコグラフチェック



ダンプトラックに搭載されているタコグラフにて、ダンプの運行速度・運転手の休憩時間などをチェックし、災害防止等に努めています。